



日本共産党杉並区議会議員

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

週刊

こんにちは
山田耕平
です

2025.12.25 No.548

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

国民健康保険証・マイナ保険証に関する陳情審査 医療を受ける権利を守るために 委員会可決

国民健康保険(国保)加入者全員に
「**資格確認書**」を送れ!

この2年間、「健康保険証を存続させて」などの陳情は棚上げにされていましたが、この程、杉並区議会の保健福祉委員会で審査されました。

- 今後は1月の区議会で採択されれば、
区は資格確認書の国保加入者全員への送付を検討することになります。

陳情提出した杉並社会保障推進協議会のチラシ（抜粋）。早速、委員会審査を伝える。

健康保険証の存続等を求める陳情には、20年から提出されていました。しかし、保健福祉委員会の歴代委員長が長期間、審査を怠つたまま時間が経過。私も委員長に対して審査を求め続けてきましたが、この間、国は健康保険証の発行を終了しました。

審査の遅れは議会の責任
審査を求めるだけ実現へ

日本共産党杉並区議団は、マイナ保険証への一本化は、住民の医療アクセスを損なうおそれがあり、国民皆保険制度の根幹に関わる問題だとして、これまでも中止を求めてきました。今回の審査でもこの立場に立ち、5件の陳情については趣旨採択、3件については採択を主張しました。

12月12日、閉会中に保健福祉委員会が開催され、健康保険証やマイナ保険証をめぐる計8件の陳情について審査が行なわれました。

内容は、健康保険証の存続や復活を国に求めるもの、マイナ保険証との関係で生じている混乱への対応、資格確認書を一斉に交付することを求めるものなどです。

健康保険証や資格確認書
保健福祉委員会で議論

保健福祉委員会委員の陳情賛否について

会派議員	自民 大和田 吉田	共産 山田	立憲 寺田	公明 山本	シ杉 奥田	無維 田中	無都 宇田川	参政 横田	杉わ 松尾
賛否	××	○	○	×	○	—	×	○	○

一は委員長のため採決には参加しない。

○賛成は5人、×反対は4人 保健福祉委員会で「採択」されました。

書の一斉交付と 見書提出へ前進

委員会では、制度変更に不安を抱く住民の声が寄せられていたにもかかわらず、速やかな審査が行われなかつたことは、議会として反省すべき点だと厳しく指摘しました。

都が第5次優先整備路線（案）を公表、区内6路線を選定 岸本区長 道路に頼らない「まちづくりを」

東京都は12月19日、「東京における都市計画道路の整備方針（案）」を公表しました。杉並区内では未着手路線のうち、区施工2路線（補助132号線、補助227号線）、都施行4路線（補助133号線など）、計6路線を「優先整備路線」に選定する方針案となっています。（左下路線図参照）これを受け、岸本聰子区長は区民向けにメッセージを発表しました。

都市計画道路 拙速な事業化を否定



すぐに事業着手する考えはありません
区長メッセージの全文は上記QRコードから確認できます。

メッセージで区長は、優先整備路線に選定されたからといって、直ちに事業に着手する考えはないことを明確にし、とりわけ高円寺北口については、再開発を進める立場には立たないと明言しました。

長年、地域で賛否が分かれ、合意形成が進んでいない現状を踏まえ、「道路整備ありきではなく、対話を重ねることが必要」とする姿勢を示したもののです。

都市計画道路は、防災など重要な役割を持つ一方で、地域の暮らしや街並みに大きな影響を及ぼします。全国的に他自治体での道路計画の見直しが進む中、東京都では道路中心の計画が見直されていないことは大きな問題があります。杉並区においても、区施行路線の優先整備路線が残っていることは課題です。

一方、今回の都の方針（案）が示される中で、拙速な事業化や再開発を否定し、住民との対話を重視する岸本区長の姿勢は重要です。

パブリックコメントにご意見を

都の方針（案）に対するパブリックコメントが来年1月30日まで行なわれています。ご意見を東京都にお寄せください。

東京における都市計画道路の整備方針（案） の杉並区内の優先整備路線



岸本区長に申し入れを実施しました。QRコードから確認できます。

物価高騰対策・道路整備方針（案）
岸本区長への申し入れを実施

パブリックコメント入力ページ
QRコード

の都の特設ページ
整備方針（案）



整備方針（案）
の申し入れ

【区長メッセージ（抜粋）】

- 「優先整備路線」に選定したからといって、すぐに事業着手をする考えはありません。そして、高円寺北口についても再開発を進める立場にも立ちません。
- 計画から何十年も事業化されていない都市計画道路を、いま私が急に動かす考えはありません。
- 西荻窪の補助132号線は、（中略）私が区長に就任する前、令和2年4月に既に事業着手していて、まちの中では賛成・反対の意見があり、そのまま事業を進めていく状況ではありませんでした。そのため、一旦立ち止まり、改めて地域の方々と対話を始めたところです。
- （補助132号線）沿道では、既に事業に協力して建物を後退している方や土地を区に譲っていただいた方々もいる状況です。一方、西荻窪の商店街や街並み、コミュニティ等を大切に思う住民からの意見も寄せられています。現在、（仮称）デザイン会議では、住民と行政とが対話をしながら、まちの課題や将来像を議論しており、住民主体による、まちの魅力を維持するための具体的な活動も始まろうとしています。今回、それらの状況を踏まえ、南側の区間を引き続き「優先整備路線」に選定しました。
- 補助227号線が優先整備路線となることが再開発の推進に繋がるのではと懸念している声があり、区にも署名が届きました。また、これまで再開発反対デモも開催されています。
- 高円寺の街が、多くの人に愛されているということは地域のかけがえのない強みです。
- 私は、道路整備だけに頼らない「まちづくり」を進めたいと考えています。